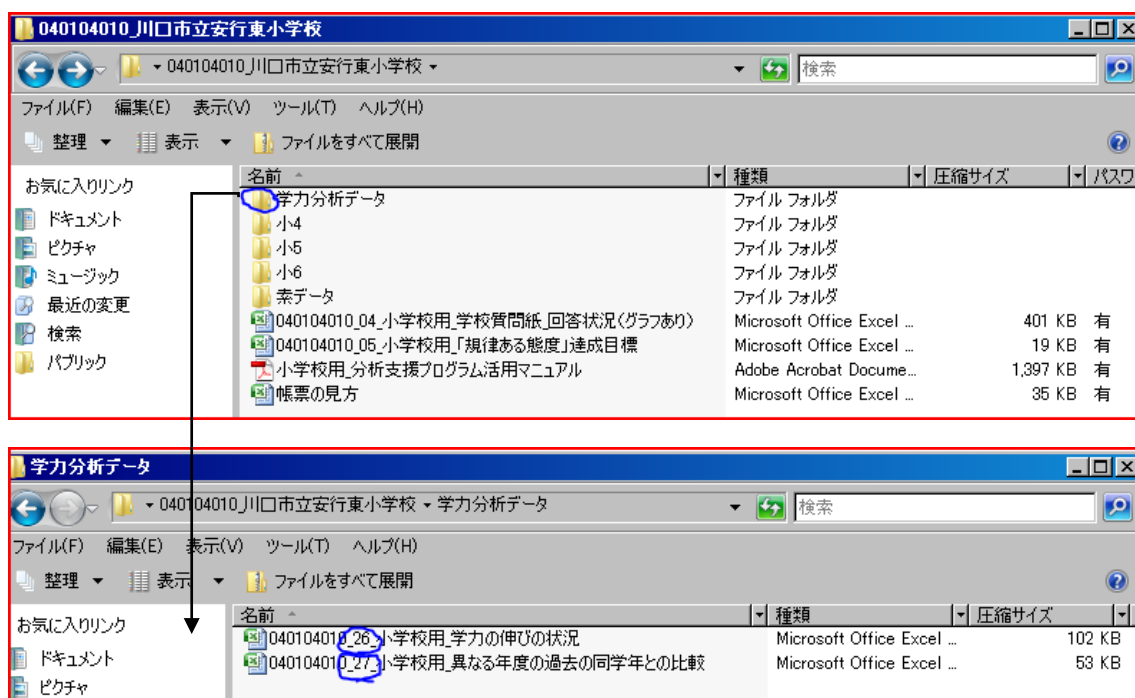


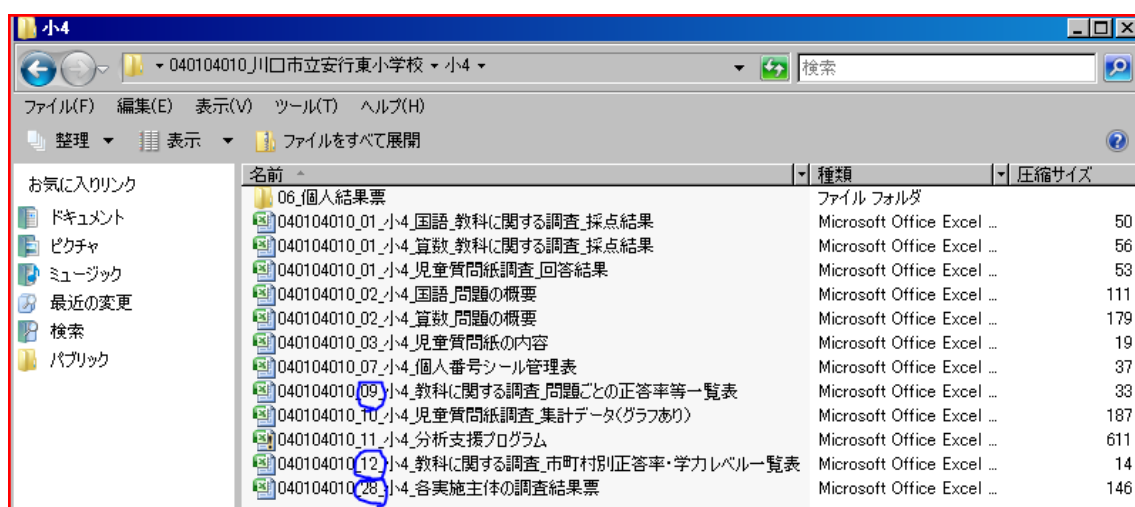
【資料1】

準備

CD から必要な部分を 1 部ずつプリントアウトする。人数分に分けて綴じる。



- ①ファイル「学力分析データ」を開き、「26 学力の伸びの状況」「27 異なる年度の過去の同学年との比較」をプリントアウトする。



- ②ファイル「小4」を開き、「09 教科に関する調査」「12 教科に関する調査」「28 各実施主体の調査結果表」をプリントアウトする。同様に「小5」「小6」についても行う。

【資料2】

STEP 0

研修のねらいと手順の説明をする。レジメやワークシートがあると分かりやすい。

ねらい：本校児童の実態と課題を明らかにし、方策を考える。

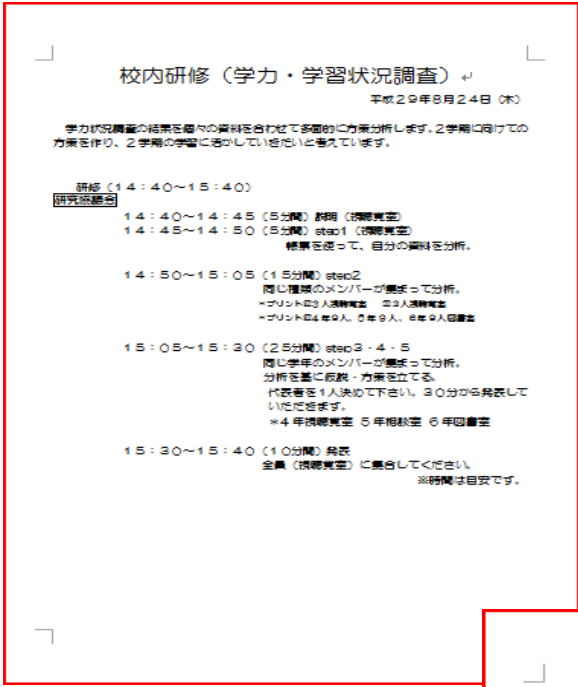
STEP 1

帳票を自分で分析し、ワークシートに記入する。

STEP 2

同じ帳票番号同士でグループをつくり、実態と課題をつかむ。場所を設定する。

- 例：「26 学力の伸びの状況」→視聴覚室
- 「27 異なる年度の過去の同学年との比較」→相談室
- 「09 教科に関する調査」→図書室
- 「12 教科に関する調査」→理科室
- 「28 各実施主体の調査結果表」→職員室



【レジメ】

STEP 3

同じ学年でグループをつくり、実態と課題をつかむ。場所を設定する。

- 例：小4→視聴覚室
- 小5→相談室
- 小6→図書室

STEP 4

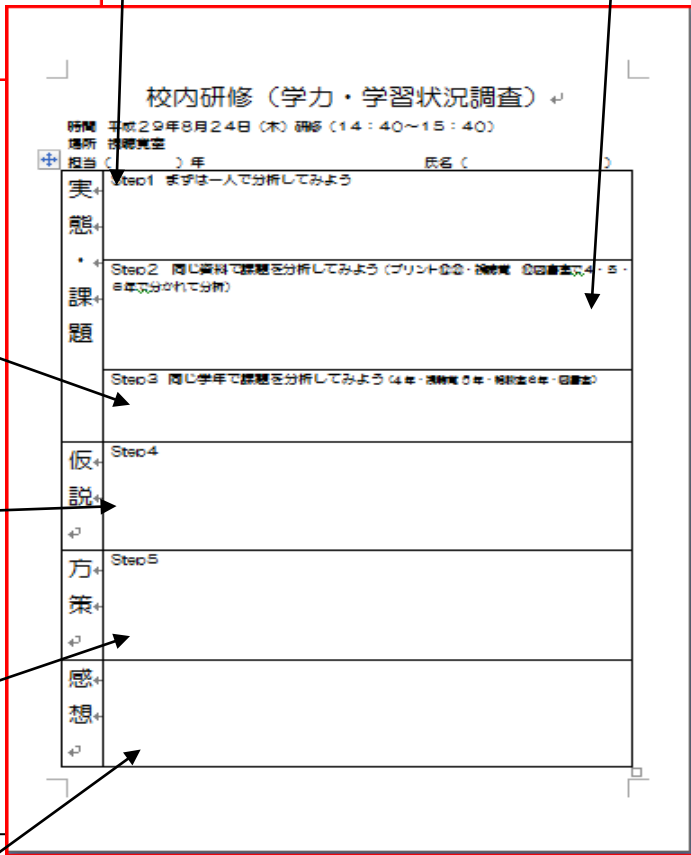
同じグループのまま、実態と課題をもとに仮説と方策を考える。

STEP 5

グループごとに仮説と方策の発表をする。

STEP 6

本校児童の課題と方策、授業改善にむけた取組など



【ワークシート】

【資料3】終了後のワークシート①

(何で5いかにしよう)が整えられていると判別でき.

校内研修 (学力・学習状況調査)

時間 平成29年8月24日 (木) 研修 (14:40~15:40)
 場所 視聴覚室
 担当 (5) 年 氏名 ()

かたい
 ・記述が弱い
 ・中間層が弱い
 BUT ~~これは弱い~~

実 態 ・ 課 題	Step1 まずは一人で分析してみよう (国) → すべての項目で県・市の平均を下回っている。しかし、前年度からの単科の伸びは「 <u>上</u> 」と大変成果がでたことがわかる。書く能力(記述)が低い。 (算) → 県・市平均とほぼ同じ正答率である。図形、数量関係は平均とうわわわわ。数と計算、幾何と割合において下回っている。国語同様、記述が弱いようだ。	
	Step2 同じ資料で課題を分析してみよう(プリント⑫⑬・視聴覚 ⑩図書室で4・5・6年で分かれて分析) (4年) 国語の記述が低い、 <u>読・聞<低</u> (5年) すべて下回っている。特に記述力が弱い(45年並み)	
	Step3 同じ学年で課題を分析してみよう(4年・視聴覚5年・相談室6年・図書室) ・学習に対して自信が低い。読書量が少ない。自覚性と姿勢が課題。 ・中・下の学力をどう引き上げるか(Bの学力をどう引き上げるか) → 6年生の中間層の結果から、 中の下	
仮 説	Step4 落ちついて学習できる環境を整え、中間層(B ^C の児童)と児童と引き上げることで、夏が向上することをめざすのでほしいが。	
方 策	Step5 ・基礎的かつ反復練習(漢字、計算) ・ヒトカード ・習熟度別のコースを作る。 ・放課後学習の増やす ・家庭学習の時間を確保(宿題) ・ <u>読む</u>	・書く活動 ・本をよんでこいカエリカエリ ・早中向上O/A(書込活動)
感 想	改めて分析してみると各学年の長所、短所がよくわかりました。分析をすることでこれからの対策を考えることができるとし、このやり方は非常によいと思います。ありがとうございました。	・モチベーションが 高くなるように 工夫したい。

6年が
のびる
こと。

校内研修（学力・学習状況調査）

時間 平成29年8月24日（木）研修（14：40～15：40）

場所 視聴覚室

担当（ 6 ）年

氏名（ ）

実態	<p>Step1 まずは一人で分析してみよう (51) 本について70%以上が本が読んだと答えている。しかし本校は、65%と低い。 (52) ゲームについてはほとんど読まないか平均的な時間は長い。(53) 家庭カレールは弱く、 (54) ゲームと同じくらい。(55) スマホの59本ほどは読んでいる。(56) 親との会話に余裕があるかという (57) 大人との話が読んでいる。</p>
課題	<p>Step2 同じ資料で課題を分析してみよう（プリント⑩⑪・視聴覚 ⑩図書室で4・5・6年で分かれて分析） 勉強時間が他校より少ない。じやしりわりありが低い。オリフはヒビとヒビもあつた。 できていないところの相対意識。友達がかんはいむわつといひ。先生については割と好評だ。 ノートをおろして書いてみる。理由をつけて発表するとかよい。勉強がしつづいてるのしや おもしろいことか、わからないことか、先生にきいてほしいことかよくできてるとは思えない。自分一人で じやじやのことか応用おこし自信がない。どつどつとまじかが多い。あつたわつたあつた。友だちにきいてみる。</p>
生	<p>Step3 同じ学年で課題を分析してみよう（4年・視聴覚5年・相談室6年・図書室） ・自主性、本はアツて、勉強時間、本読みの少ない。意見が持てない。 ・書くが弱い。計算、測定、記述式。最下位層が伸びない。B層かといふより、A層かといふ。</p>
仮説	<p>Step4 ・記述で答える力をつけて。国語の予習。 ・反復練習をさせる。家庭学習を増やせるように。 ・習熟度別。Cの子へ。秋課後学習や夏期講習の強化。 ← 2018064208 について。</p>
方策	<p>Step5 ↓ ・読者の取っ組みす ・まじかを記述式で 自分で書く。</p>
感想	<p>・やはり共通に読む力（読者量）若く力に大きな課題がある と改めて感じました。 ・自主性や向上心の低さといった内面的課題を解決する必要もわり そうだと感じます。中間層の力を伸ばすことが近道だと思ひます。 ・家庭への働きかけは他校とのデータを見て、これも必要だと感じました。</p>

校内研修（学力・学習状況調査）

時間 平成29年8月24日（木）研修（14:40～15:40）

場所 視聴覚室

担当（ 6 ）年

氏名（ ）

実態・課題	<p>Step1 まずは一人で分析してみよう！</p> <p>(5) 基本的には、埼玉県・市町村と比べて大きな差は無いが、「よく～」(7)のみ少し低くしている（自信はないというニト？）</p> <p>(6) 「よく～」に関しては平均的だが、「少し～」と「どちらも～」が少なく、「あ(9)」「少し～」「よく～」の差が大きい（応用問題は苦手な傾向にある！）</p> <p>Step2 同じ資料で課題を分析してみよう（プリント⑫⑳・視聴覚 ⑩図書室で4・5・6年で分かれて分析）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の伸びはある ・塾通っている割合低い ・わかとそろえる ・理由書くの苦手 ・難しいからあきらむの多 ・本があまりない ・本人に話してもらえろ ・勉強が楽しくない ・一人に計画を立ててくれない ・友達が良いとこを話してもらえろ ・分からない所聞きにい？ ・国語下回ってる <p>Step3 同じ学年で課題を分析してみよう（4年・視聴覚5年・相談室6年・図書室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力に関する自信のなさ→自主性と粘り強さの低さ ・学習合いの場 ・B評価が多い→A評価にもついていける？ ・書くことの意識（各教科）
仮説	<p>Step4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書く」を各教科で！ ・反復練習 ・習熟度別（普段・夏休みは評価のみ） ・家庭学習（基礎練習をメインに！） ・環境がちゃんとしているからできろ！ <p>（Cの子…ヒートカードとか、放課後学習、分かりやすい授業、算数帳本、席専用で！ 少人数、夏休み の充実 学習合い(AとC)）</p>
方策	<p>Step5</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書く」、言語書量 自分の力で考えさせて書かせる まとめとか、出だし「ジケとか…習慣づけ （国だけじゃなく、算とかも）
感想	<p>学力だけに限らず、「このデータが〇〇だから△△に繋がる！」という気づきがいかにあつて面白かった。4～6年が今回の調査で「これが自分の学年でも、どの面が得意・不得意なのか、せめて自分のクラスでも確認して、学力の向上に努めたいです。」</p>